

学校教育目標 「こころざしをもち 学び合う 輝南の生徒」

重点目標 「時を守る 場を浄める 礼を正す」

「学びや問いをつなげる」

富士宮市立富士根南中学校
校長 金野 教之

修学旅行と林間学校、輝南セミナー、各学年の行事が無事終了しました。引率した先生たちの声、生徒の皆さんの声からどの学年も充実した行事だったことがうかがえます。

私は 3 年生の修学旅行に同行しました。南中としては、5 年ぶりの新幹線での修学旅行でした。今年は、新たな試みとして、1 日目は神戸まで足を伸ばし、人と未来防災センターで阪神淡路大震災から防災について学びました。この学習は、社会、理科、保健体育、技術・家庭、道徳、総合的な学習の時間など、各教科の学習内容と直結した学びを目指しています。そのため、震災を学んだことで、自分の身に起こった場合を想定して、準備とその対応方法を考え、実践してほしいという願いがあります。そういう意味では、避難所での生活スペースをいかに作るかといった体験は、今後の生活や学習に活用できてこそ意味があります。見て・聞いて・感じたことを次の学習につなげてくれることを期待します。

東大寺では、降りしきる雨の中ですが、大仏殿の階段を上がると目の前に現れる大仏を目の当たりにして、「おおー」と歓声が上がりました。大仏殿の大仏の後方に回ると大仏殿の柱ぐりがあります。成功すると「無病息災・頭がよくなる」などのご利益があるとされているので、南中の生徒もこぞって柱ぐりにチャレンジしていました。ある生徒が「なんで柱の下に穴が開いているのだろう。柱が弱くならないのかなあ。」とつぶやきました。この感性が学びの入り口です。「実は、ご利益のためだけに、わざわざ大事な柱に穴を開けている理由ではないですよ。調べてみたらどうかな。」と言うと説明してある看板を見つけて熱心に読んでいました。このように自分の感じたことを追究していくことで学びがつながっていきます。

龍安寺では、生徒たちは庭の石が 15 個全部見える場所がないということに興味を持って熱心に庭を眺めていました。「やっぱり見えないなあ。でも、なぜ、こういう庭にしたのかな」一生懸命眺めているとそんな疑問が生まれたようです。口を使った 4 つ漢字で構成された蹲い(つくばい)の前では、「蹲いは、何に使われたのかな」という疑問を口にした生徒がいました。修学旅行をきっかけに生徒たちの感性が刺激され、興味が広がることで、学びや問いがつながっていくことを期待したいです。

1 年生も 2 年生も廊下に掲示された振り返りの作文を読むと多くの成果が得られたことがわかり、うれしくなります。その中で、林間学校で、食事づくりやハイキングなど、学校生活とは異なる状況で、「友達の良さを発見した。仲間の優しさがうれしかった。」という内容がありました。仲間と協力し、仲間の良さを感じ、仲間とともに楽しさを共有できたようです。1 年生も職業講話では、自分の未来について考えるきっかけになったようです。職業について考えることは進路学習の入り口です。進路学習に触れたことで、中学生になった実感が高まったのではないのでしょうか。

保護者の皆様、お子さんの健康管理、準備物、送迎等、ご配慮いただき、ありがとうございました。おかげさまで、大きな成果を得ることができました。行事の振り返りは、1 年生と 2 年生は 5 月 30 日(木)の授業参観の際に、廊下に掲示していますのでご覧ください。3 年生は進路説明会への参加をお願いします。



地域の支え

「輝南会」見まわり活動

本校では、「輝南会」ボランティアと、「警友会」(元警察官)の方が、毎週水曜日に通学路の見回り活動を実施してくださっています。

この見回り活動によって、犯罪や交通事故が抑され、生徒の安全と安心が守られることはとてもありがたいことです。



3年10組 後藤 七海

私は修学旅行の1日目で、災害の怖さと備えておく重要さを知って、必要なものを準備しておこうと思いました。2日目は、雨が降っていて大変でしたが、鹿を見ることができて良かったです。3日目はタクシーでいろいろな所に行きました。私は清水寺が高くて楽しかったです。伏見稲荷はたくさんの鳥居が並んでいてきれいでした。いちごあめを食べました。おいしかったです。出発前は不安だったけど、1組のメンバーと大部屋で一緒に話をしたり、クラス別研修を行ったりすることで、楽しい思い出がたくさんできて良かったです。



3年2組 村松 莊祐

今回の修学旅行では、神戸、奈良、京都を訪れました。印象に残っているのは、神戸に行った震災学習です。阪神淡路大震災に被災された方の講話を聞いたり、当時の様子を映像で見たりして、日頃から近所の人々との関係を築くことがとても重要だと思いました。

クラス研修やタクシー研修では、仲間と協力し時計やしおりを見て、行動することができ、各クラスの絆を深めることができました。しかし、学年全体では先のことを考えて行動したり、時と場に応じた行動をしたりする場面で課題ができたので、今後の生活で改善できるようにしたいです。



2年6組 佐野 瑠胡

2年生になり、林間学校の実行委員長を務めたことで、少し自分の成長を感じることができました。私自身、良かったと思

えた点は周りをよく見て行動できたことです。班員や友達が困っていたときに声をかけたり、炊事場の片付けが残っていた所を見つけて片付けたり、先生が荷物の積み込みをしていたときなどには進んで手伝いをしたりと、気付いて行動に移すことができました。しかし、課題点もありました。この学年を更に良い学年にするためにも、良かったところは継続し、課題点は改善していきたいと思います。



1年4組 山口 壘充

僕が輝南セミナーで学んだことは、予定通りに動き時間を守ることと団結力の大切さを学びました。1日目は、時間を守ることができ

ず、予定取りに動くことができませんでした。本来、予定していたことができなくなってしまい、時間を意識して動くことの大切さを学びました。また、時間通りに動くために、お互いに声を掛け合い行動することも学びました。

この3日間で、時間を守ることはもちろん、他にもいろいろなことを学ぶことができました。

